

令和 4 年度
首里城公園事業年報
第 4 号



BUSINESS AN ANYE YEARLY REPORT OF SHURIJO CASTLE PARK
No.4 April 2022—March 2023

表紙写真 在りし日の首里城正殿（2019年2月撮影）

漆の塗り直し完了後から1年以上が経過した正殿の写真。正殿は琉球王国最大の木造建築物で、首里城のなかでも王権を象徴する中心的な建物である。中国や日本の建築様式の影響を受けながら、装飾化した龍柱や正面のハの字型階段など琉球独自の形式を持つ。写真的正殿は、1712年に建立され数度の大修理を経ながら戦前まで存続した建物の再現を目指して1992年に復元された。

裏表紙写真 復興現場の様子（2023年1月撮影）

2019年10月31日未明の火災から復興へ向けて動き始めた首里城公園の様子が窺える写真。2022年9月、首里城正殿再建に使用する材木の保管・加工等を行う木材倉庫と見学エリアが完成。12月に倉庫壁面に描かれた正殿グラフィックが公開となり、新たなフォトスポットとして注目されている。2023年夏頃に正殿を覆う仮設設備「素屋根」が完成し、秋頃からは屋内での正殿工事が始まる予定となっている。

目 次

I	名称・所在地・営業資料	3
II	沿革	3
III	管理・運営	5
(1)	組織	5
(2)	入場者数	6
(3)	取材等報道一覧	6
(4)	主な管理施設	6
IV	業務報告	7
(1)	調査研究活動	7
(2)	普及啓発活動	9
(3)	地域連携事業	20
(4)	展示紹介・その他企画展等	24
(5)	首里城公園友の会事業	32
(6)	誘客促進	37
(7)	行催事	49

I 名称・所在地・営業資料

名称 首里城公園〔沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）〕

設置者：内閣府 沖縄総合事務局

管理許可者：沖縄県

指定管理者：一般財団法人沖縄美ら島財団

所在地 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町

電話：098-886-2020 FAX：098-886-2022

HP：<https://oki-park.jp/shurijo/>

開場時間

期 間	開 場 時 間	駐車場開放時間
令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	9:00～17:30	8:30～18:00
※〈入場券販売締切 17:00〉		

入場料金

	大 人	中 人（高校生）	小人（小・中学生）
一般料金	400 円	300 円	160 円
団体料金	320 円	240 円	120 円
年間パスポート	800 円	600 円	320 円

※団体は20名様以上

※モノレール（ゆいレール）のフリー乗車券（一日券・二日券）をご利用中のお客様は首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により団体料金の適用

※県民70歳以上入場無料

※首里城復興祭（10/29・10/30・11/3：3日間）、新春の宴（12/31～1/3：4日間）の時期、県民6歳以上より70歳未満を対象に「沖縄県民割」（大人400円→320円、中人300円→240円、小人160円→120円）を実施。

II 沿革

昭和59年 沖縄県により「首里城公園基本計画」策定

昭和61年 「国営沖縄記念公園首里城地区」として首里城跡地内4haを整備することが閣議決定

沖縄総合事務局により「国営沖縄記念公園首里城地区基本計画」が策定

国営公園の予定地の周辺を県営公園とすることを府議決定

首里城公園（17.8ha）が都市計画決定

昭和62年 首里城公園内の国営公園部分が都市計画事業承認される

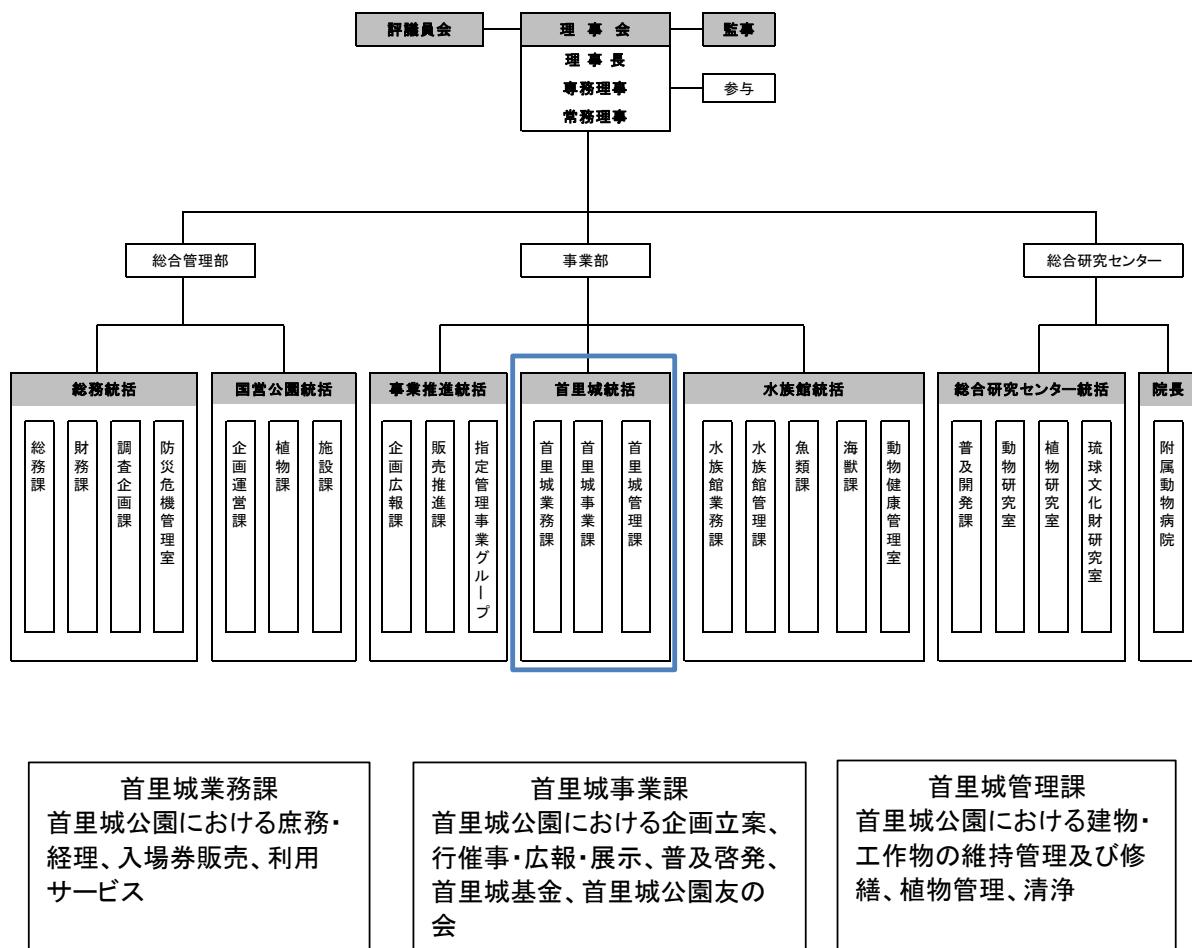
首里城公園内の県営公園部分が都市計画事業認可される

		沖縄県により「首里城公園基本設計」が策定
平成元年		首里城正殿建築工事の起工式及び木曳式を実施
		首里城正殿、復元工事に着手。南殿・番所、北殿、奉神門等も復元工事に着手
平成 4 年		首里城正殿建築工事、石積設置工事等が竣工する
平成 4 年	11 月 3 日	首里城公園一部開園
平成 7 年	3 月 15 日	入園者 500 万人達成
平成 9 年	12 月 24 日	入園者 1,000 万人達成
平成 12 年	6 月 2 日	入園者 1,500 万人達成
	7 月 22 日	九州・沖縄サミットの夕食会が首里城で行われる
	12 月 2 日	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に園比屋武御嶽石門、首里城跡が世界遺産として登録
平成 14 年	11 月 1 日	入園者 2,000 万人達成
平成 15 年	10 月 4 日	京の内供用
平成 18 年	10 月 26 日	入園者 3,000 万人達成
平成 19 年	1 月 27 日	書院・鎖之間供用
平成 20 年	8 月 1 日	書院・鎖之間庭園供用
平成 21 年	7 月 23 日	書院・鎖之間庭園、国の名勝に指定
平成 22 年	4 月 1 日	淑順門供用
	12 月 5 日	入園者 4,000 万人達成
平成 26 年	1 月 24 日	黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院供用
	4 月 1 日	奥書院庭園供用
平成 27 年	4 月 25 日	入園者 5,000 万人達成
平成 28 年	3 月 28 日	銭蔵跡、廄、係員詰所跡供用
平成 29 年	3 月 31 日	北城郭園路広場供用
平成 30 年	12 月 16 日	入園者 6,000 万人達成
平成 31 年	2 月 1 日	国営沖縄記念公園首里城地区全エリア開園
		東のアザナ・白銀門・二階御殿供用
		世誇殿、女官居室、後之御庭、美福門供用
令和元年	10 月 31 日	首里城正殿を含む建物 9 棟が焼損
令和 2 年	6 月 12 日	首里城公園正殿遺構等の一般公開
	10 月 31 日	首里城復興展示室、世誇殿大型映像設備、女官居室ミュージアム
		ショップ球陽がオープン
令和 3 年	10 月 27 日	仮設見学デッキ完成
令和 4 年	9 月 30 日	木材倉庫、見学エリア等完成
	11 月 3 日	首里城正殿復元整備工事起工式及び令和の木曳式を開催

III 管理・運営

(1) 組織

一般財団法人 沖縄美ら島財団 組織図
並びに 沖縄美ら島財団 事業部 首里城業務課・首里城事業課・首里城管理課 業務分掌



令和5年3月31日現在

(2) 入場者数

月	有料	無料	合計
4	28,697	2,259	30,956
5	30,561	2,632	33,193
6	25,836	1,798	27,634
7	34,782	2,557	37,339
8	41,067	2,415	43,482
9	32,505	1,944	34,449

月	有料	無料	合計
10	53,883	4,137	58,020
11	70,076	4,950	75,026
12	74,021	5,155	79,176
1	61,726	4,869	66,595
2	69,991	4,317	74,308
3	84,970	5,391	90,361
計	608,115	42,424	650,539

(3) 取材等報道一覧

カテゴリー	テレビ（全国）	テレビ（地方）	新聞（全国）	新聞（地方）	ラジオ	Web
展示	0	0	0	0	0	0
普及啓発	0	1	0	2	0	2
調査研究	0	1	0	0	0	1
イベント	0	20	3	32	0	7

(4) 主な管理施設

区域	施設名	
無料区域	城郭外	首里杜館・守礼門・園比屋武御嶽石門 円覚寺・弁財天堂・龍潭・中城御殿跡
	城郭内	歓会門・久慶門・瑞泉門・漏刻門・広福門 首里森御嶽・系図座用物座・奉神門 右掖門・淑順門・繼世門・美福門 錢藏・木曳門
有料区域（焼失建造物含む）	正殿・南殿 番所・北殿・書院鎖之間 書院鎖之間庭園・近習詰所・奥書院 黄金御殿・寄満・女官居室・世誇殿 復興展示室	

IV 事業報告

(1) 調査研究活動

三御飾道具の復元調査

概要

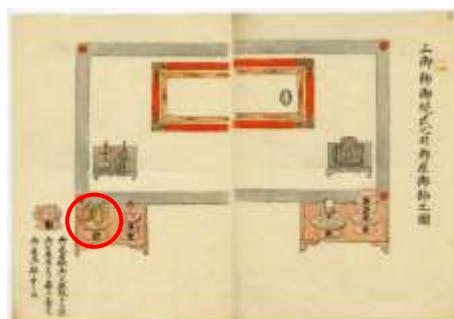
かつて、首里城では正月元日、正殿下庫理御差床（一階玉座）周辺に三御飾道具を飾り、国王が御差床に着座し、下庫理に居並ぶ王子・按司・三司官・親方・親雲上等の諸臣と御酒・御茶を飲み合う祭祀儀礼を行った。この儀礼は、元日だけでなく、年に数度行われ、また、首里城正殿の重修（大規模な修繕）のような国家事業の完成を祝う儀礼としても行われた。この三御飾道具の復元事業は、平成12年度より実施している。ほとんどの三御飾道具は過年度に完成済みとなっているが、諸臣に御酒を振る舞う酒器と思われる「御玉垂」の製作仕様について調査研究を継続している。

「御玉垂」は、金属製の水指の表面を鉛ガラスのビーズ玉を編んで装飾している。このような装飾を行う酒器は、今のところ琉球以外の地域では見当たらない特異な事例である。現存事例は無く、鎌倉芳太郎が戦前、中城御殿で撮影した画像のみが残っている。この「御玉垂」のビーズ玉で編んだ配色に関する調査研究を琉球の酒器の類似事例である「御玉貫」という酒器のビーズ玉の編み方と配色を比較して検討を行った。

今後は、配色案の検討を継続しながら、次年度以降、有識者ヒアリングを行い、内容を精査していくことを予定している。



正殿下庫理（一階）の御差床（玉座）



『図帳 当方』沖縄県立芸術大学

鎌倉芳太郎コレクション

正殿一階玉座周辺に飾られた三御飾道具の配置図。円で囲った水指状の酒器が「御玉垂」と思われる。



『図帳 当方』拡大画像

「御玉垂」と思われる酒器が図示されている。黄色のビーズ玉を中心に編まれていると想定される。



「御玉垂」 沖縄県立芸術大学

鎌倉芳太郎コレクション

ガラスのビーズ玉で覆われた水指状の酒器



「御玉貫」 沖縄美ら島財団所蔵

御玉垂の類似事例の一つ。蓋が欠失している。複数の残存事例を比較してガラスのビーズ玉の編み方と配色案を検討した。



「黒漆螺鈿采配」 沖縄美ら島財団所蔵

御玉貫の蓋が、采配の房に改変されて現存している。保存修理を行いながら、編み方の特徴、配色の検討を行った。

(2) 普及啓発活動

郷土歴史文化学習事業

目的

郷土の歴史や文化の普及・啓発を図るため沖縄県内の小・中学生及び引率教諭を対象に、首里城公園の有料施設に無料で入場できる郷土歴史文化学習事業を実施している。

来園後には学習結果報告として児童・生徒の作文、図画、新聞等を提出していただき、園内で展示・紹介することで首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、県民の首里城公園の利用促進を図ることを目的とする。

概要

令和4年度は小学校65校3,148人、中学校6校733人、その他団体1件8人が郷土歴史文化学習事業制度により、首里城公園で首里城及び琉球王国の歴史文化について学んだ。

月	小学校		中学校		その他(学童等)		合計	
	校数	人数	校数	人数	件数	人数	校数・件数	人数
4月	1	93	0	0	0	0	1	93
5月	2	42	0	0	0	0	2	42
6月	5	236	0	0	0	0	5	236
7月	1	69	0	0	0	0	1	69
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	8	323	1	195	0	0	9	518
10月	9	314	2	275	1	8	12	597
11月	16	1,038	0	0	0	0	16	1,038
12月	12	464	1	43	0	0	13	507
1月	6	295	1	32	0	0	7	327
2月	4	245	1	188	0	0	5	433
3月	1	29	0	0	0	0	1	29
合計	65	3,148	6	733	1	8	72	3,889



郷土歴史文化学習の様子



学習結果報告書の展示

首里城出張講座

目的

郷土歴史文化学習事業で来園を予定している小・中学校、または依頼のある高校などを対象に、学芸員による首里城に関する出張講座を実施し、郷土の歴史文化の普及・啓発および首里城公園の利用促進を図ることを目的とする。

概要

郷土歴史文化学習事業の事前学習として、首里城及び琉球王国の歴史概説や現在の首里城公園の見どころ、希望に応じて学校の所在する地域と首里城の関連などの歴史解説を行った。実施日・実施場所・参加人数・派遣職員等については以下の通り。

- ・ 令和4年5月20日（金）
・ 興南中学校・高校 興南アクト部 参加者数：50人（中学生・高校生） 教員4人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）
- ・ 令和4年9月6日（火）（首里中学校図書館からリモートによる授業）
・ 首里中学校 参加者数：192人（3年生） 教員10人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）
- ・ 令和4年11月17日（木）
・ 那覇市立城北小学校 参加者数：106人（3年生） 教員3人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）
- ・ 令和4年11月30日（水）
・ うるま市立赤道小学校 参加者数：90人（5年生） 教員4人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）



興南アクト部



首里中学校



城北小学校



赤道小学校

日影台（日時計）解説会

目的

学芸員や解説員による日影台（日時計）の解説会を通して、首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、首里城公園の利用促進や満足度向上を目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

①令和4年6月18日(土)、19日(日)、21日(火・夏至)

12:20～13:00、14:20～15:00

②令和4年9月23日(金・秋分)、24日(土)、25日(日)

12:20～13:00、14:20～15:00

③令和4年12月22日(木・冬至)、24日(土)、25日(日)

12:20～13:00、14:20～15:00

④令和5年3月18日(土)、19日(日)、21日(火・春分)

12:20～13:00、14:20～15:00

《実施場所》 首里城公園 日影台

概要

琉球王国時代に使用された日影台は、往時、時刻盤の傾斜角度を二十四節季ごとに変えていたことにちなみ、現在は春分・夏至・秋分・冬至の4回変えている。

令和4年度は、夏至、秋分、冬至、春分を含む合計12日間解説会を実施し、総計1,268人(夏至:289人/秋分:313人/冬至:304人/春分:362人)が解説会に参加した。

解説会では、外国語3か国語(英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語)を含む解説書と自作できる日影台のワークシートを配布し、日影台の見学を行った。

さらにYouTubeの首里城チャンネルにて公開している日影台の動画についても、見学の際に案内した。

【令和4年度 日影台（日時計）解説会 参加者数】 (人)

実施日	日程	曜日	12:20～13:00	14:20～15:00	小計	合計
令和4年 (夏至)	6月18日	土	45	81	126	289
	6月19日	日	46	28	74	
	6月21日	火	42	47	89	
令和4年 (秋分)	9月23日	金	56	61	117	313
	9月24日	土	60	48	108	
	9月25日	日	56	32	88	

令和4年 (冬至)	12月22日	木	43	56	99	304
	12月24日	土	50	48	98	
	12月25日	日	63	44	107	
令和5年 (春分)	3月18日	土	37	61	98	362
	3月19日	日	52	58	110	
	3月21日	火	93	61	154	
総合計					1, 268	



夏至



秋分



冬至



春分

首里城講座

目的

本講座を通じて、首里城に関する歴史・文化を主に県民に向けて普及啓発し、首里城公園の利用促進と満足度向上を目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和5年1月7日（土）・21日（土）・28日（土）

《時間》 毎週土曜日 10:30～12:00

《場所》 首里城公園 首里杜館 情報展示室

《定員》 15人

概要

今期は「令和の首里城復興にむけて」と題して、首里城復元に携わる職人や関係機関の方々を講師にお招きし3回行い、首里城の「見せる復興」の機運を更に高められるようにした。

・【第1回】「首里城正殿塗装について」

講師：諸見由則（伝統工芸士・沖縄県指定無形文化財（琉球漆器）保持者）

正殿の塗り直しに携わった諸見由則氏を講師に迎えて開催した。首里城正殿の塗り直しについて、作業風景の画像を工程ごとに映し出しながら解説していただいた。

また、手板を使用し、正殿の塗装仕様の特徴や塗装技法について詳細な解説があった。参加者は熱心にメモを取りながら聞き入り、「塗装作業の期間や携わる職人について」「布着せに使われる布について」「塗装技法による効果」などの質問・講演の感想などが盛んに交わされ、関心の高さが窺えた。

（参加者数：11人）

・【第2回】「首里城正殿二階の御書扁額について」

講師：城間太基（沖縄県首里城復興課）

首里城正殿に掲げられていた御書扁額について、首里城復興課の城間太基氏に解説していただいた。平成の復元後に得られた新たな知見や尚家文書の中に御書扁額に関する記述があり、今回の復元に反映されることや、材料、文字、彫刻、加飾など、現状についての紹介があった。また、首里城正殿赤瓦のシャモット製作ボランティアで作られた破損瓦の粉末を御書扁額の漆塗りの原料として使用することについても説明があった。

（参加者数：11人）

・【第3回】「首里城瓦について」

講師：花城可英（沖縄県工業技術センター）

新しく復元される首里城正殿の瓦の調査や試作等に携わっている沖縄県工業技術センターの花城可英氏を講師に迎え開催した。沖縄赤瓦の説明から始まり、平成時に復元された首里城の瓦との違いや材料をどこから調達するのか、求められる吸水率や強度を満たすために現在取り組んでいることについて、テストピースなども見せながら、詳細でわかりやすい解説が行われた。参加者からは、材料の産地や製作する瓦工場の数、平成の瓦と令和の瓦の吸収率の違いなど、関心の高さが窺える質問があった。

（参加者数：8人）



第1回



第2回



第3回

首里城公園有料ガイドツアー

目的

首里城公園の解説員によるガイドツアーを行い、お客様に琉球王国や首里城の歴史・文化、建造物等について解説紹介を実施する。特に正殿等の再建が着々と進む今だからこそ見られる、感じられる首里城の新たな魅力や再建に向けた状況を紹介し、首里城復興に向けた気運を高め、首里城への理解を深めることを目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

月～金：8：45～9：45 16：00～17：00

土・日：8：45～9：45 15：30～16：30 16：00～17：00

《実施場所》 首里城公園内 (受付) 首里杜館 B1F

御開門見学コース（※朝8：45のみ）

首里杜館→守礼門→木曳門→奉神門（御開門）→木材倉庫・加工場・原寸場→東のアザナ→世誇殿→奉神門→日影台→大龍柱補修展示室→京の内→西のアザナ
歓会門コース

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→歓会門→龍樋→瑞泉門→漏刻門→日影台→広福門→大龍柱補修展示室→奉神門→木材倉庫・加工場・原寸場→東のアザナ→世誇殿
木曳門（バリアフリー）コース

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→木曳門→西のアザナ→京の内→下之御庭→日影台→広福門→大龍柱補修展示室→奉神門→木材倉庫・加工場・原寸場→復興展示室→世誇殿

概要

中学生以上は1人1,000円とし、1回の定員を5人（同一グループは10人まで）で行った。ツアーではイヤフォンガイドを活用して首里城や琉球王国の歴史と文化の概要を紹介しながら、参加者をわかりやすく案内した。こまめに参加者の様子を確認し安全に回れるように声かけを行い、質問などにも対応した。10月には、木材倉庫・加工場・原寸場が一般公開され、復興に向けて歩みを進めている様子も案内した。

参加者は、個人での旅行者や家族連れ、グループでの参加など様々で、アンケートの満足度は概ね好評であった。

参加者数 (人)

実施月	有料 (中学生以上)	無料 (小学生以下)	合計
4月	134	11	145
5月	181	12	193
6月	173	7	180
7月	289	18	307
8月	242	73	315
9月	182	6	188
10月	385	8	393
11月	825	33	858
12月	510	26	536
1月	296	9	305
2月	769	8	777
3月	389	10	399
合計	4,375	221	4,596



ガイドツアーの様子

あがり
東 のアザナ時報解説・体験会

目的

琉球王国時代、漏刻門や日影台で計測した時間を東のアザナや西のアザナに伝え、そこから鐘などをついて首里城内外へ時間を知らせていたことにちなみ、毎日正午に来園者が銅鑼を叩いて時間を知らせる体験会を行う。琉球王国時代の歴史や文化についての理解を深める機会とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和4年12月3日（土）～令和4年1月31日（火）※土日のみ実施

令和5年 2月1日（水）～令和5年3月31日（金）※毎日実施

11:55～12:05

《実施場所》 首里城公園 東のアザナ

概要

首里城公園解説員が11:55頃から、かつて時間を城内外へ知らせる鐘楼が設置されていたと伝わる東のアザナで琉球王国時代の時刻に関する解説を行い、希望者の方にハチマチを被ってもらい、正午をお知らせするドラを叩く体験会を実施した。

参加者数

12月	62人	1月	168人
2月	731人	3月	795人
			合計 1,756人



時報解説・体験会の様子

歴史植物ガイドツアー

目的

首里城公園の施設やその場所に関する歴史的な解説と、首里城公園内に植栽されている植物に関する解説を実施し、首里城公園の普及啓発及び満足度向上を目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和4年10月8日（土）	10:00～11:30、14:00～15:30
令和4年12月10日（土）	10:00～11:30、14:00～15:30
令和5年1月14日（土）	10:00～11:30、14:00～15:30
令和5年2月25日（土）	10:00～11:30、14:00～15:30

《実施場所》

首里城公園内

守礼門－歓会門－北城郭地区－錢蔵－瑞泉門－漏刻門－広福門－下之御庭－首里森御嶽－奉神門－正殿跡－世誇殿－大龍柱修復展示室－京の内－西のアザナ－木曳門

概要

学芸員と植物担当のスタッフが参加者と一緒に園内をまわりながら首里城公園内の植栽について解説を行った。

学芸員による解説では、首里城の歴史や琉球王国の概要、門や城壁、建造物の用途について解説したほか、今後の復興についても説明した。

植物担当スタッフによる植物解説では、公園内の植栽が資料や証言に基づいて行われていることを説明した。また、植物の名前の由来や見どころ、花が咲く時期、そして植物の手入れや管理方法についても紹介した。参加者は熱心に観察し、耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。

参加者数

令和4年10月8日（土）	10時 10名／14時 8名	計 18名
令和4年12月10日（土）	10時 2名／14時 10名	計 12名
令和5年1月14日（土）	10時 7名／14時 11名	計 18名
令和5年2月25日（土）	10時 9名／14時 9名	計 18名
合計 66名		



歴史植物ガイドツアーの様子

(3) 地域連携事業

フラワーロード事業

目的

都市公園及び都市公園の周辺地域に対する県民の意識の高揚と利活用の効果を高めるため、住民参加による都市公園等の愛護活動を展開する。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和4年10月9日（日）、10月23日（日）

※10月16日は悪天候のため中止

《時間》 9:30～11:00

《場所》 首里城公園内 龍潭及び久慶門周辺園路

《連携団体》 首里地域住民の方、近隣の地域団体・企業

《参加者》 10月9日 25人、10月23日 46人

概要

10月の沖縄都市緑化月間・都市公園等愛護活動の一環として、龍潭や久慶門周辺園路の清掃美化作業、プランターへの草花植付け作業を実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者の人数分散を目的に開催日を3回に分けて実施（10月16日は悪天候のため中止）し、地域団体や地元企業（近隣ホテル関係、首里城公園友の会等）に参加いただいた。

作業開始前に主な作業内容の説明を行い、安全管理、熱中症対策に注意して作業を行うよう参加者に周知した。清掃作業は、園路の落葉清掃や石積み・城壁除草、中低木刈込、雑木撤去等を実施した。また、プランターの草花植付け作業では、ベゴニアとマリーゴールド、ジニアの3種類準備した。植付け後には、龍潭通り（県道）にプランターを設置し、フラワーロードとして沿道の景観向上を図った。この活動を通して、参加者に都市公園愛護への意識高揚を図ることができ、また地域住民参加による大規模な清掃を行うことで、安全で憩える環境づくりを行うことが出来た。



令和4年度 フラワーロード事業 風景

首里城への美御水（ヌービー）の奉納

目的

かつて首里城へ献上され、国王の年始清め儀式「お水撫で(ウヒナデー)」などに使われたのが、国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」で汲まれた水である。そして、首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」は、平成 10 年に 120 年の時を超えて復活した。

本行事は、地元首里の方々と共に琉球文化の心と想いを伝え、来る年の人々の健康と多幸を願い、首里城及び地域の平和と発展推進を祈念し、更に次世代への固有文化継承を目的としている。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和 4 年 12 月 25 日（日）

《時間》 15:00～15:30

《場所》 旧円覚寺総門前

《連携団体》 首里観光案内所 首里トウンジムイ参道ゆい会
辺戸区お水取り有志の会

概要

首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」と「円覚寺奉納」が行われた。首里城公園内では、旧円覚寺総門前において「奉納の儀」が実施された。イベント終了後、12 月 25 日（日）から 1 月 3 日（火）までの期間、首里杜館 1 階案内カウンター横で「若水」を展示した。



旧円覚寺「奉納の儀」



「若水」の展示

令和4年度 「春の御城まつり～首里手作り市～」

目的

地域団体や教育機関、地元企業との結びつきを強化し、「地域に親しまれる公園」作りを通して首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和5年3月25日（土）～3月26日（日）2日間

《時間》 8:55～17:00

《場所》 首里城公園内

　　国営区域（下之御庭、系図座・用物座）

　　県国営区域（奉神門、世誇殿）

　　県営区域（守礼門前、龍潭、首里杜館（芝生広場、ガイドンスホール等）

《連携団体》 首里まちづくり研究会、城西小学校区まちづくり協議会、

　　首里三ヶ城南小学校区まちづくり協議会、豊見城市観光協会、

　　首里城公園友の会

《連携企業》 首里染織館 suikara、首里琉染、シュガートレイン

概要

地域からの要望を踏まえ「春の御城祭り～首里手作り市～」へと改称し、企画から運営までを地域と一緒にを行うことで、日頃から首里城公園に足を運んでいただけるよう「地域に親しまれる公園」作りに取り組んだ。

(人)

タイトル	場 所	実施日	参加者数
こども御開門式	奉神門前	3/25～3/26	511
ミツバチ教室	芝生広場	3/25～3/26	42
杜のステージ	芝生広場ステージ	3/25～3/26	571
桑江さんぽ	首里城公園周辺	3/25～3/26	7
サンゴ染め体験	芝生広場	3/25～3/26	91
首里こども旗頭	守礼門付近、下之御庭、芝生広場	3/25	106
爬龍船ふなこぎ体験	龍潭	3/25～3/26	191
琉球すごろく体験	系図座・用物座	3/26	46
城郭内見学ガイド	有料区域	3/25～3/26	52
漆（沈金）体験教室	世誇殿	3/25～3/26	22
首里城正殿ぬり絵体験	系図座・用物座	3/25～3/26	390
音楽ゲーム VR 体験	首里杜館ガイドンスホール	3/26	29

沖縄の絵本読み語り	芝生広場	3/26	84
すいまる (首里(すい)のミニマルシェ)	芝生広場	3/25～3/26	—

首里地域の団体や企業と連携し、イベントを通して地域との繋がりを深めた。また、こども御開門式やすいまる（首里ミニマルシェ）の出店、沖縄の絵本読み語りなど、地域住民が積極的にイベント運営に参加していただいたおかげで円滑に実施できた。

なお、3月26日(日)は雨天による悪天候のため、いくつかのイベントが実施場所の移動、及び中止や時間の変更など余儀なくされたが柔軟に対応した。



こども御開門式



ミツバチ教室



杜のステージ



爬龍船ふなこぎ体験



サンゴ染め体験



首里こども旗頭



桑江さんぽ



琉球すごろく体験



首里城の城郭内見学ガイド

(4) 展示紹介・その他企画展等

屋外展示・復興展示室・その他企画展等

1. 屋外展示

2000年に世界文化遺産に登録され、国指定史跡でもある「首里城跡」。首里城城郭の地下には琉球王国時代の遺構が存在する。地下に眠る遺構全体は、平成の首里城復元の際に保護のため埋め戻され、その上に建物を築くための地盤がかさ上げされている。現在、2026年の正殿復元完成を目指して工事が行われ、「見せる復興」として復元過程を公開しているが、正殿基壇遺構の公開部分は埋め戻されているため、正殿完成まではその姿を見ることはできない。



保護のため埋め戻される正殿基壇遺構

1) 木材倉庫の首里城正殿グラフィックと木材倉庫・原寸場

奉神門をくぐると、正殿を中心に描かれた北殿や南殿を含む御庭全体のグラフィックが現れる。このグラフィックは「見せる復興」の一環として木材倉庫壁面に描かれ、2022年12月より新しいフォトスポットとして注目を集めている。往時、首里城正殿の正面は、奉神門中央口から少しずれた場所に位置されていたため、グラフィックも同様に御庭空間の位置関係を踏まえた描き方に工夫が施されている。



上空から見た木材倉庫（左）と首里城正殿グラフィック（右）

木材倉庫は3階建ての建物で、1階は首里城正殿の御用材の搬入と加工を行い、2階は加工された木材を保存管理する場所である。さらに中2階には、実寸大の図面を広げて材料の寸法を探る作業場の原寸場があり、見学デッキの北側に面した窓から中の様子を見学できる。



上空から見た5月時点での復興の様子



上空から見た7月時点での復興の様子



奉神門付近から見る木材倉庫の西側



北側見学デッキから見る木材倉庫



見学窓のある原寸場
(2022年10月撮影)



見学窓から見る原寸場の様子
(2023年1月撮影)

2) 見学デッキの「正殿の復元過程」グラフィック

見学用デッキの西側フェンスには、石材の搬入、木材の加工、大龍柱の建造、屋根瓦を葺く様子、壁面や柱の彩色・漆塗装など、平成の首里城正殿復元の過程が描かれており、復元工事の基本的なプロセスをイメージすることができる。



奉神門側から見る木材倉庫前の西側フェンス

3) 龍頭棟飾鉄骨・飾瓦破片

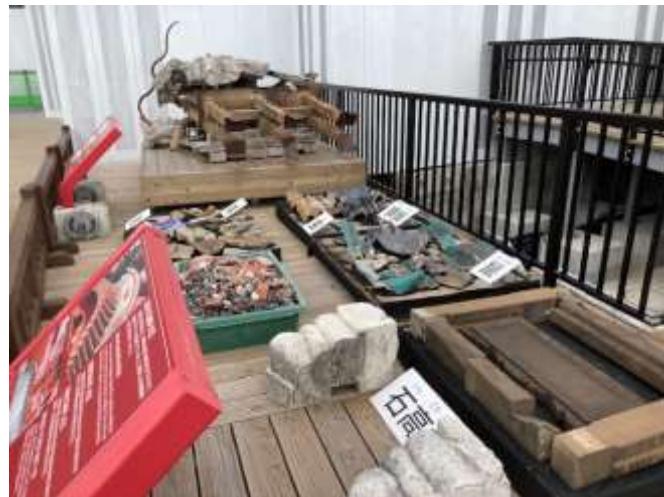
首里城正殿の大棟（おおむね）の南北両端と中央の唐破風（からはふ）の上には、大きな龍の飾瓦があった。戦前の写真では漆喰製だが、17世紀後半では焼物であったことがわかり、平成の復元では焼物が用いられた。しかしながら、大棟の龍頭の長さは約3.3メートルあり、相当の重量になるため、安全性や耐久性を考えた工夫がなされた。龍の頭や鱗などは小さなピースに分割されて焼かれた陶片で、下地にステンレス線や接着剤により一つずつ留められた。さらに、下地に留められた陶片と屋根の棟木（むなぎ）を接いで固定していたのが鉄骨である。この鉄骨はステンレス製だったため火災の影響を受けながらも残った。龍頭棟飾の鉄骨と飾瓦破片（陶片）は、困難な復元作業を職人技で克服した歴史を物語る貴重な残存物である。



展示された正殿の龍頭棟飾鉄骨（左）・飾瓦と赤瓦の断片（右）

4) 首里城正殿の石高欄

首里城正殿の正面と中央の階段には石で造られた高欄が設置されていた。王宮にしつらえたいわゆる手摺りであり、装飾でもあった。平成の首里城復元では、16世紀初め頃から戦前まで残っていた高欄が復元された。基壇上より突出する高欄を支える持送り石には琉球石灰岩が用いられ、その他は「ニービの骨（ニービヌフニ）」と称される細粒砂岩で造られた。石造りの高欄自体は、中国の宮殿建築にならったものだが、高欄の端にある親柱の逆蓮頭（蓮の花を逆さに伏せた装飾）、また高欄を支える束石の握蓮（蓮の葉のかたちの装飾）など日本の禅宗様の建築様式に似せたデザインが見られる。展示されている石高欄は火災の影響で破損したもので、在りし日の首里城正殿を物語る重要な残存物である。



展示された正殿の石高欄（右手前）と
飾瓦・赤瓦の断片（中央）と龍頭棟飾鉄骨（奥）

2. 復興展示室

御内原エリアにある復興展示室内部には、壁面に沿ってパネルが設置され、首里城復興に向けた取組や、平成と令和の復元の比較として「①扁額」「②瓦」「③防火対策」の違いが分かりやすく解説されている。

また、首里城復元に用いられる木材や瓦、石材、漆塗装の手板などの実物が展示され、コンパクトな解説が日本語・英語・スペイン語で紹介されている。さらに、「首里城復興の参加」として、首里城ボランティアや首里城破損瓦等の活用など現在進行する取組みをパネルで示しており、首里城火災から復興に向けた動きを、動画も交えて紹介している。

奉神門の北側に残った瓦を使って、再び葺いた瓦も展示しており、沖縄の青い空に映える赤瓦の色や形を近くで堪能できる。

復興展示室の中央には、火災前まで首里城正殿の屋根から睨みをきかせていた獅子瓦、正殿の石階段を飾っていた石製の獅子、石高欄等の石彫刻の残存物の一部を展示している。ばらばらになってしまった姿は火災の凄まじさを物語っているが、同時に今まで見ることが叶わなかった石彫刻や瓦の細部を見ることができる。



復興展示室の展示風景

3. 企画展ほか（令和4年4月～令和5年3月）

6月より11月まで改修工事のため首里杜館ビジターロビーの使用が中止となり、展示スペースに制約ができたが、一時期場所を移し、次のとおり企画展を開催した。

【開催】

- ・「郷土歴史文化学習事業成果報告」パネル展（会期：①4/1～5/26、②5/27～7/7、③3/19～3/31 会場：①首里杜館ビジターロビー、②首里杜館情報展示室前、③首里杜館情報展示室前）
※郷土歴史文化学習事業で首里城を見学した学校から送られてきた報告書（作文・絵画・新聞等）を学校毎に2週間ずつ展示した。6月より11月まで首里杜館ビジターロビーの改修工事が行われたため、会場を首里杜館情報展示室前に変更した。
- ・「在りし日の首里城 写真パネル展」（会期：随時 会場：首里杜館ビジターロビー）
※首里城火災から3年を経て、在りし日の首里城を写真パネルで紹介。
- ・沖縄復帰50周年記念展「受け継がれる琉球の染織」（会期：5/14～5/22 会場：世誇殿）
※琉球王国の崩壊や沖縄戦を乗り越え、現代に受け継がれてきた琉球王国時代に育まれた染織の技術の中から、「首里織」「琉球びんがた」「喜如嘉の芭蕉布」「宮古上布」「久

「米島紬」の5件を展示紹介した。

- ・首里城公園「琉球王国時代の装い～琉球国王の装い～」(映像上映)

(会期：11/18～3/31 会場：世誇殿)

※世誇殿の大型マルチモニターを使用し、琉球王国時代の国王の装いについて、沖縄美ら島財団所蔵の絵画や染織を中心としつつ他機関が所蔵する資料の画像を上映紹介した。描かれた装いとして御後絵を挙げて、さらに現代に伝わる衣裳などの資料を画像で示し、首里城公園のイベント時に再現された国王の動画等を交えながら、衣裳を着用した状態で動作をする国王のイメージを伝えた。

- ・首里城「朝賀の儀式」パネル展 (会期：1/1～1/3 会場：首里杜館ビジャーロビー)

※イベント「新春の宴」の実施に合せて、琉球王国時代の正月儀式「朝拝御規式」をはじめ、正月に行われていたその他の儀式を、再現催事の画像や文献を基に展示紹介した。

- ・首里城公園 新春の宴「朝拝御規式」(映像上映) (会期：1/1～1/3 会場：世誇殿)

※正殿焼失後、実施できなかった正月儀式「朝拝御規式」の様子を、火災以前の映像を基に世誇殿の大型モニターにて上映し、新年の幕開けを華やかに彩る琉球王国のお正月を紹介した。

- ・首里城公園古写真展「懐かさん 中城御殿～森政三コレクション～」(会期：令和5年1/26～3/31 会場：首里杜館情報展示室前)

※文部省技官として戦前の守礼門の修理工事や戦後の園比屋武御嶽石門や守礼門の復元に携わった森政三が所持していたコレクションの中から、中城御殿の写真をパネルに展示した。

- ・琉球の華みぐい『花の工芸品』パネル展 (会期：2/19～3/13 会場：世誇殿前・素屋根建築予定地フェンス)

※「琉球の華みぐい」(会期：2/19～3/13) にあわせて植物の意匠があしらわれた琉球王国時代の美術工芸品を写真パネルで展示紹介した。

- ・琉球の華みぐい「首里城の植物たち」(映像上映) (会期：2/19～3/13 会場：世誇殿)

※「沖縄花のカーニバル2022」に併せて花をテーマに、首里城公園内に咲く草花の紹介や植物にまつわる美術工芸品を、世誇殿の大型モニターで上映し、園内周遊や再来園の契機づくりを図った。

※首里杜館のビジャーロビーは令和4年10月にリニューアルオープンし、「ガイダンスホール」に名称を変更しているが、ここでは一貫性を保つため、「ビジャーロビー」の表記を使用する。



「在りし日の首里城パネル展」の展示風景



沖縄復帰 50 周年記念展「受け継がれる琉球の染織」の展示風景



首里城公園古写真展
「懐かさん 中城御殿～森政三コレクション～」の展示風景

【連携・協力】

- ・沖縄復帰 50 年記念特別展「琉球」（東京）（会期：5/3～6/26 会場：東京国立博物館 平成館）

主催：東京国立博物館、NHK、NHK プロモーション、読売新聞社、文化庁

共催：沖南和県立博物館・美術館

※特別展にあたり、財団が所蔵する全魁書、王文治書、鄭嘉訓書、孫師昌筆「花鳥図」、円覚院了堂模写「中山花木図」、城間清豊（欽可聖）筆「白澤之図」、泉川寛道（慎克熙）筆「虎の図」、山口宗季（吳師虔）筆「関羽像」、泉川寛英（慎思九）筆「釣人之図」、東京藝術大学保存修復日本画研究室制作「尚瀬王御後絵」（彩色模写復元）の貸出を行った。

- ・沖縄復帰 50 年記念特別展「琉球」（福岡）（会期：7/16～9/4 会場：九州国立博物館）

主催：九州国立博物館、福岡県、NHK福岡放送局、NHKエンタープライズ九州、読売新聞社、文化庁

共催：沖縄県立博物館・美術館、（公財）九州国立博物館振興財団

※特別展にあたり、財団が所蔵する「鉄釉灰釉流掛双耳水指」、東京藝術大学保存修復日本画研究室制作「尚穆王御後絵」（彩色模写復元）の貸出を行った。

- ・沖縄県立博物館・美術館令和 4 年度企画展「復帰 50 年展 琉球—美とその背景」

（会期：10/14～12/4 会場：沖縄県立博物館・美術館）

主催：沖縄県立博物館・美術館

※企画展にあたり、財団が所蔵する山口宗季（吳師虔）筆「関羽像」、佐渡山安健（毛長禧）筆「鷹雀枯木芙蓉図」の貸出を行った。

(5) 首里城公園友の会事業

首里城公園友の会事業報告

首里城公園友の会では、沖縄の歴史や文化の普及に関する講演会、見学会など、専門の講師を招聘し、年間を通して開催している。首里城公園を拠点に、首里城公園への来園促進を促し、地域に根ざした普及啓発活動を行った。

1. 首里城見学会

1. 令和4年10月29日（土） 参加者 1回目/15名 2回目/15名

講師：上江洲安亨氏（沖縄美ら島財団）

令和4年10月30日（日） 参加者 1回目/14名 2回目/15名

講師：高良倉吉（琉球大学名誉教授）・平良啓氏（（株）国建 常務取締役）

令和4年11月3日（木） 参加者 1回目/15名 2回目/15名

講師：上江洲安亨氏（沖縄美ら島財団）

2. 令和5年3月25日（土） 参加者 1回目/14名 2回目/15人

講師：上江洲安亨氏（沖縄美ら島財団）

令和5年3月26日 参加者 1回目/9名 2回目/14人

講師：平良啓氏（（株）国建 常務取締役）

1.2 とも、首里城公園「春の御城まつり」連携事業

2. 首里城周辺めぐり

1. 親子でピクニック

1) 令和4年5月3日（火・祝） 参加者：15人

講師：新里涼子氏（（株）国建 まち・しまデザイン部）

2) 令和4年5月5日（木・祝） 参加者：4人

講師：講 師：鈴木悠氏（那覇市歴史博物館）

2. 伊江殿内庭園を中心に

日程： 令和5年2月18日（土） 参加者：17人

講師：鈴木悠氏（那覇市歴史博物館）

3. 那覇めぐり及び地域めぐり

1. 真和志間切（上間村）めぐり

令和4年11月19日（土） 参加者：16人

講師：前田舟子氏（沖縄大学准教授）

2. 那覇めぐり

令和5年1月21日（土）

参加者：13人

講師：喜納大作氏（首里城研究会会員）

4. コンパクト講座

1. 「ベッテルハイム日誌を読む-波之上の眼鏡が記した琉球-」

令和4年10月15日（土）

参加者：18人

講師：本村育恵氏（沖縄県教育庁）

2. 「土（サムレー）になれなかつた人たち」

令和4年10月22日（土）

参加者：15人

講師：伊集守道氏（那覇市歴史博物館）

3. 「素材」から見える“沖縄の染織”と“琉球料理”

令和4年10月8日（土）

参加者：12人

講師：宮城奈々氏（沖縄美ら島財団）・仲村公子氏（琉球料理伝承人）

4. 琉球沖縄の食文化

日時：令和5年1月14日（土）

参加者10人

講師：上江洲安亨氏（沖縄美ら島財団）

5. 史跡巡見

1. 沖縄本島内のバスツアー（1日コース）

日時：令和4年11月27日（日）

参加者：19人

講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授・当会会長）

2. 史跡巡見北部コース

「今帰仁城跡・やんばるの史跡見学とちむどんどんロケ地めぐり」

日時：令和4年12月18日（日）

参加者：16人

講師：宮城弘樹氏（沖縄国際大学准教授）

3. 那覇市内の世界遺産周遊バスツアー（半日コース）

日時：令和5年2月25日（土）

参加者：17人

講師：鈴木悠氏（那覇市歴史博物館）

4. 離島巡見 伊是名島2日ツアーア

日時：令和5年3月25日（土）～26日（日） 定員：17人

講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授・当会会長）

6. 文化講演会

1. 「中国の考古資料から見た琉球」

日時：令和 4 年 6 月 25 日（土）

参加者：55 人

講師：森達也氏（沖縄県立芸術大学教授）

場所：沖縄県立博物館・美術館

2. 「中国・台湾考古学から見た琉球王国」

日時：令和 5 年 2 月 19 日（日）

参加者：47 人

講師：森達也氏（沖縄県立芸術大学教授）

場所：沖縄県立博物館・美術館

7. イヌマキ育樹祭

1. 令和 4 年 7 月 30 日（土）

参加者：64 人

2. 令和 5 年 1 月 29 日（日）

参加者：105 人

8. 体験教室

1. 漆（沈金技法）体験教室

日程：令和 5 年 3 月 25 日（土）

参加者：10 人

令和 5 年 3 月 26 日（土）

参加者：12 人

講師：前田春城氏（漆工芸家）

2. 琉球すごろく体験

日時：令和 5 年 3 月 26 日（日）

参加者：46 人

講師：前田勇樹氏（琉球大学付属図書館）

9. 首里城研究会

1. 第 162 回 日程：令和 4 年 5 月 7 日（土）

参加者：17 人

テーマ：「首里城研究 24 号合評会」

2. 第 163 回 日程：7 月 16 日（土）

参加者：16 人

1) 発表者：平川信幸氏（沖縄県教育庁文化財課）

テーマ：「首里城大龍柱の美術史的考察」

2) 発表者：金城善氏（元糸満市立図書館長）

テーマ：「従二位様・従五位様お招きの時の様子と、尚泰の書翰」

3. 第 164 回 日程：令和 4 年 10 月 1 日（土）

参加者：15 人

1) 発表者：新垣裕之氏（波之上史編集委員）

テーマ：『琉球の神社史』の概略

2) 発表者：小野まさ子氏（沖縄県教育庁文化財課）

テーマ：「疱瘡感染濃厚接触者対策の事例-尚家文書明治二年日記より-」

4. 第 165 回 日程：令和 4 年 12 月 10 日（土）

参加者：12 人

1) 発表者：濱地龍磨氏（名桜大学大学院）

- テーマ：「古琉球辞令書にみえる「一」、「又」表記について」
- 2) 発表者：鈴木悠氏（那覇市歴史博物館）
テーマ：「近代尚家の家政組織の変遷について—明治期を中心に—」
- 3) 発表者：大城直也氏（那覇市歴史博物館）
テーマ：「近世琉球の高札とその特徴」
5. 第 166 回　日程：令和 5 年 1 月 28 日　参加者：10 人
- 1) 発表者：金城善氏（元糸満市立図書館長）
テーマ：「琉球藩王『冊封ノ詔』と三つの『琉球藩印』の顛末」
- 2) 発表者：池城安順氏（毛氏池城殿内 19 世）
テーマ：「明治 9 年 7 月の『近事評論』に掲載された「琉球藩池城等哀訴ノ書簡」」
- 3) 発表者：平川信幸氏（沖縄県教育庁文化財課）
テーマ：「翁高年宜壽盛安画像」
6. 第 167 回　日程：令和 5 年 3 月 11 日（土）　参加者：15 人
- 1) 発表者：鈴木悠氏（那覇市歴史博物館）
テーマ：「山川陵について」
- 2) 発表者：小野まさ子氏（沖縄県教育庁文化財課）　参加者：16 人
テーマ：根本茂樹と琉球の美術工芸

10. 「首里城研究」（学術誌）の発行

「首里城研究」 No. 25 発行日：令和 5 年 3 月 31 日（発行部数：400 部）

11. 友の会会報の発行

1. 第 120 号 発行日：令和 4 年 7 月 31 日発行
2. 第 121 号 発行日：令和 4 年 10 月 31 日発行
3. 第 122 号 発行日：令和 5 年 1 月 15 日発行
4. 第 123 号 発行日：令和 5 年 3 月 31 日発行

12. 運営委員会

1. 第 1 回 開催日：令和 4 年 4 月 3 日（日）　参加者：8 人
議題：令和 3 年度友の会事業及び決算について、他
2. 第 2 回 開催日：令和 4 年 5 月 7 日（日）　参加者：7 人
議題：令和 4 年度理事会及び総会にむけて
3. 第 3 回 開催日：令和 4 年 6 月 3 日（金）　参加者：9 人
議題：令和 4 年度監査、理事会、総会にむけて
4. 第 4 回 開催日：令和 4 年 7 月 10 日（日）　参加者：9 人
議題：会報 120 号の発行にむけて
5. 第 5 回 開催日：令和 4 年 10 月 22 日（土）　参加者：5 人
議題：会報 120 号の発行にむけて

6. 第6回 開催日：令和4年12月10日（土） 参加者：7人
議題：会報122号の発行及び1月以降友の会事業について、ほか
7. 第7回 開催日：令和5年3月11日（土） 参加者：7人
議題：令和4年度事業報告及び会報123号の発行に向けて、ほか

13. 会員数（令和5年3月31日現在）

個人会員：799人
法人会員：29社

(6) 誘客促進

首里城復興イベント(沖縄県連携事業)

目的

首里城が復興していく過程において、首里城の復元及び首里城に象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会の創出により、その魅力を再認識し、首里城への来訪推進を目的とする。沖縄県と連携し「首里城復興イベント」として園内でのナイトタイムコンテンツやワークショップ、伝統文化ステージを実施する。

概要

ナイトタイムコンテンツ 参加者 2,752 人

【伝統芸能（組踊）】

首里城組踊鑑賞として組踊「二童敵討」の名場面を下之御庭にて披露した。解説映像とともに琉球王国と文化、組踊についてわかりやすく解説を実施した。

【プロジェクションマッピング】

北城郭ではプロジェクションマッピング、三線合奏を披露した。北城郭の大壁面の映像とともに、観客の皆様と「かぎやで風節」を合奏した。

ものづくり体験イベント 参加者 596 人（※漆喰シーサーづくりのみ）

芝生広場にて首里城の破損瓦を活用した漆喰シーサーづくりや世界でひとつのオリジナル置物づくり体験を実施した。地域連携交流イベントとして旗頭や古典音楽、歴史を物語る国頭サバクイ等、首里城とゆかりの深い伝統芸能の数々を披露した。



組踊「二童敵討」



プロジェクションマッピング



エイサー



置物づくり体験

首里城正殿復元整備工事起工式・令和の木曳式(国・沖縄県連携事業)

目的

令和4年度から首里城正殿の整備復元工事に着手することから、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県と連携し工事の進捗および安全を祈願する「首里城正殿復元整備工事起工式」、平成の復元時に行われた故事である「木曳式」を開催することで、首里城復興の気運を高めることを目的とする。

概要

首里城正殿復元整備工事起工式

内閣府沖縄総合事務局主催で11月3日に首里城公園内特設会場で首里城正殿復元整備工事起工式を開催した。「御材木」(オキナワウラジロガシ)にノミ入れのセレモニーを実施し、再建へのスタートを切った。

令和の木曳式

沖縄県を中心に実行委員会が組織され、首里城正殿復元整備工事起工式に先立ち、旧中山門から首里城内へ御材木を運び入れ、正殿復元工事の無事を祈る「木遣行列」が行われた。また、木遣行列後は首里城公園芝生広場で汀良町獅子舞や首里音頭、国頭サバクイ、旗頭演舞などの木遣イベントが開催された。



首里城正殿復元整備工事起工式



首里城正殿復元整備工事起工式



いざ首里城令和の木曳式



木遣イベント

琉球泡盛の粹 in 首里杜館

目的

琉球泡盛の普及啓発と消費拡大を目的に、沖縄県酒造組合をはじめ関係団体の協力のもと、泡盛文化を語り合う時間・空間を創出するイベントを開催することで、県民や観光客に泡盛の魅力を知ってもらう機会とする。

開催期間および場所

《期間》 令和4年12月17日（土）～18日（日）

《場所》 首里杜館 1F 情報展示室、無料休憩所

《協力団体》 沖縄県酒造組合、山原島酒之会、泡盛マイスター協会、他

概要

泡盛古酒ボトルオークションをはじめ、泡盛飲み比べ体験会、泡盛パネル展、泡盛の女王ミニトーク、泡盛モデル三線の展示など泡盛に関する様々なプログラムを実施し、琉球泡盛の歴史や魅力について普及啓発を図った。

その他、17日には、沖縄県内4つの企業・団体より、一石甕、琉球泡盛、琉球石灰岩製の台座、甕の蓋を覆う琉球びんがたの一式が首里城復興の願いを込めて首里城公園に寄贈された。同日、関係者や一般来園者の手により一石甕の中に県内酒造メーカー45社の泡盛（一升瓶90本）が注がれ、「首里城復興祈願 泡盛一石甕」として首里杜館1階に展示。令和8年の首里城正殿完成のあにつきには、本一石甕の蓋を開けて熟成がすすんだ泡盛を来園者に振舞う予定である。



泡盛パネル展



泡盛の女王ミニトーク



泡盛モデル三線の展示



泡盛ボトルオークション



泡盛 飲み比べ体験会



泡盛一石甕の展示

首里城 MICE

目的

首里城公園の利活用として MICE を受入実施し、魅力創造、琉球・沖縄の歴史・文化・芸術等を情報発信し誘客促進するとともに、沖縄県の観光振興に寄与する。今後は、首里城公園独自の MICE プランを構築・展開していく。

実施日時・団体

- ① 令和 4 年 11 月 11 日(金) 主要会場:瑞泉門下
オール日本マーケット協会インセンティブツア(ワールドビジネスプラン)
- ② 令和 4 年 11 月 18 日(金) 主要会場:園内全域のガイド及び座学での歴史講座
富士通ファミリ会(近畿日本ツーリスト)
- ③ 令和 5 年 1 月 27 日(金) 主要会場:瑞泉門下
遙かなる琉球「首里城ナイト」(ワールド航空サービス)
- ④ 令和 5 年 2 月 3~5 日(金~日) 主要会場:歓会門・芝生広場
琉球の歴史と文化を今に伝える沖縄の伝統芸能とプロジェクションマッピング(近畿日本ツーリスト)

総括

令和 4 年度には、4 件の MICE イベントを受け入れた。MICE イベント実施の際には、復興の過程を見学してもらい、その後にステージ鑑賞や講演会などのプログラムを組み込む形にした。一般来園者の見学に支障をきたさないように、原則として閉園後の開催とした。安全管理では、暗所の動線照明の確保、人員の配置、立入禁止区域への進入防止柵の設置対応を行った。発電機などを使用する際には、消火器の設置や監視員を配置するなど、特別な対策を実施した。新型コロナウイルス対策として、基本的な手指消毒やマスクの着用、体調不良者の不参加などの対策を実施した。

上記受け入れ以外にも、沖縄県や那覇市、OCVB などの MICE 関連の視察案内や MICE 商談会に参加し、積極的な広報活動を行った。令和 4 年度をベースにして、首里城公園の MICE プランを構築し、新たな収益事業ならびに「見せる復興」の普及に繋げていく。



瑞泉門下の芸能披露



歓会門前のプロジェクションマッピング

お城 EXPO 2022

目的

OCVB・世界遺産 5 城跡と連携して「お城 EXPO 2022」へ出展し、沖縄観光 PR・県内城郭の周遊促進を図るとともに首里城復興への気運を高める。

開催期間および場所

《期間》 令和 4 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）

《場所》 横浜パシフィコノース

《連携団体》 (一財) 沖縄観光コンベンションビューロー、

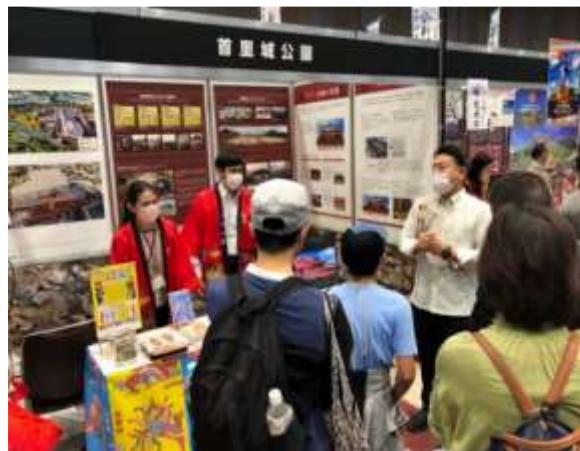
(一社) 中城村観光協会、(一社) 読谷村観光協会、

(一社) うるま市観光物産協会、(一社) 今帰仁村観光協会

実施概要

横浜みなとみらいにて開催された国内最大級のお城の祭典「お城 EXPO2022」の観光情報ゾーンへブース出展し、首里城の復興状況や歴史文化を伝えるパネル展示、世界遺産首里城正殿基壇遺構の実寸大パネル展示、復興 VR 体験の実施、コラボ御城印等の販売を行った。

また、出展にあたり OCVB・世界遺産 5 城跡と連携したブース展開を行い、専門家や首里城解説員による沖縄ブースツアー等の実施により、沖縄県全体として城観光への訴求力を高めることができた。



首里城ブースの様子



コラボ御城印による 5 城連携

琉球漆芸の人材育成

目的

首里城の復元に欠かせない「琉球漆芸」の技術者育成を目的として、令和3年度に寄贈された「首里城復興ピアノ」に琉球漆器の技法（箔絵・密陀絵）で加飾を施した。

概要

技術者育成の一環として、沖縄県立芸術大学教授の指導の下、同大学院生・卒業生によって加飾された。同大学の研究生がデザインし、描かれた葡萄栗鼠文様は首里城正殿の須弥壇でも使用されており、琉球漆器にもよく使われる首里城公園に相応しい文様である。「葡萄栗鼠」文様は「多福」や「子孫繁栄」の意味を持つが、本デザインでは「子孫繁栄」を「人と人との繋がり」と解釈し、首里城復興を通して多くの人が出会い、多くの福がもたらされること願う意味が込められている。また右から左に流れるデザインは、過去と未来、強さと弱さの対比が演出されており、右（過去）に顔を向けるリスは歴史を受け止め、首里城復興を経て更なる発展を願う構図となっている。

加飾が施された「首里城復興ピアノ」は、首里城公園首里社館1階無料休憩所に常設されており、来園者が自由に見学・演奏できる。



加飾作業の様子



加飾作業の様子



完成した首里城復興ピアノ



製作した関係者

首里城重ね捺しスタンプラリー

目的

首里城公園への来園記念として、園内4箇所に設置した首里城正殿デザインスタンプの重ね捺しを通して、公園全域への周遊促進および復興への気運を高めることを目的とする。

実施期間および設置場所

《実施期間》 令和4年10月29日（土）～※常時設置

《設置場所》 ①首里杜館B1 ②系図座・用物座 ③世誇殿 ④首里杜館1F

実施概要

園内4箇所に設置したスタンプを巡りながら、黄色・水色・黒色・赤色とスタンプを重ね捺しすることで、鮮やかな首里城正殿が完成する。

台紙はポストカードになっており、旅の便りを首里城から出すこともできる。



首里城重ね捺しスタンプラリー
デザイン



案内看板



首里城重ね捺しスタンプラリー



参加しているお客様の様子

YouTube 動画コンテンツ 「首里城正殿に会いたくて」

目的

本格的な再建が進んでいく中で、国と連携して首里城の魅力や復興現場の様子を分かりやすく伝える YouTube 動画コンテンツを制作し、首里城復興への気運を高める。

実施概要

YouTube 動画コンテンツとして「首里城正殿に会いたくて」シリーズを制作。首里城の見どころや復興の様子を発信した。R4 年度は合計 18 本公開。

〈首里城 YouTube チャンネル URL〉

<https://www.youtube.com/channel/UCCECHL1yK1ttS9acFsC9s1NQ>

YouTube 動画「首里城正殿に会いたくて」シリーズ 公開一覧

(回)

公開日時	タイトル	内容	再生数 (3/31 時点)
6月22日	首里城正殿に会いたくて Vol.1	奉神門前から木材倉庫の様子を紹介	503
6月29日	首里城正殿に会いたくて Vol.2	京の内エリアの展望台を紹介	388
7月15日	首里城正殿に会いたくて vol.3【前編】	木材倉庫の様子を㈱大成ホームの技術員にインタビュー	841
7月20日	首里城正殿に会いたくて vol.3【後編】	木材倉庫の様子を㈱大成ホームの技術員にインタビュー	515
7月26日	首里城正殿に会いたくて Vol.4「大龍柱」	大龍柱展示室を紹介	364
8月22日	首里城正殿に会いたくて Vol.5「シャモット製作ボランティアがスタート！」	シャモット製作ボランティアを紹介	1,064
9月21日	首里城正殿に会いたくて Vol.6 第一話「園比屋武御嶽石門」編	園比屋武御嶽石門の見どころを紹介	294
9月22日	首里城正殿に会いたくて Vol.6 第二話「園比屋武御嶽石門」編	園比屋武御嶽石門の見どころを紹介	206
9月26日	首里城正殿に会いたくて Vol.6 第三話「園比屋武御嶽石門」編	園比屋武御嶽石門の見どころを紹介	148
9月26日	首里城正殿に会いたくて Vol.6 第四話「園比屋武御嶽石門」編	園比屋武御嶽石門の見どころを紹介	263
9月27日	首里城正殿に会いたくて vol.7 「火災を乗り越えた首里城のソテツ」	首里城火災の爪痕を紹介	449

9月 30 日	首里城正殿に会いたくて Vol. 8 【前編】 「久慶門から城壁沿いを歩いてみました」	久慶門付近の見どころを紹介	299
10月 10 日	首里城正殿に会いたくて Vol. 8 【後編】 「久慶門から城壁沿いを歩いてみました」	久慶門付近の見どころを紹介	405
10月 17 日	首里城正殿に会いたくて Vol. 9 「新しい見学エリアができました！」	「原寸場」の見学エリアを紹介	328
10月 27 日	首里城正殿に会いたくて Vol. 10 「ついに！木材がやってきた」	正殿復元に使われる「大径材」を紹介	682
12月 13 日	首里城正殿に会いたくて Vol. 11 「龍樋」	瑞泉門、湧水「龍樋」を紹介	358
3月 17 日	首里城正殿に会いたくて Vol. 12 Part1 「東のアザナから見る首里城の復興」	東のアザナ時報解説・体験会を紹介	290
3月 27 日	首里城正殿に会いたくて Vol. 12 Part2 「東のアザナから見る首里城の復興」	東のアザナ時報解説・体験会を紹介	83



YouTube 動画「首里城正殿に会いたくて」

首里城通信 御城だより（うぐしくだより）

目的

首里城公園の広報誌として、首里城正殿復元整備工事の進捗や首里城基金を活用した美術工芸品の修復状況を伝えるとともに、沖縄の歴史文化を広く普及・啓発し、首里城の魅力を広く情報発信することを目的とする。

実施概要

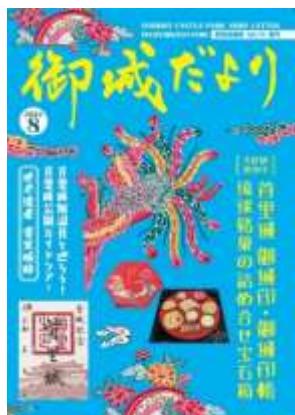
「令和の首里城」をテーマに国の担当者や有識者にインタビューを行い、首里城復元の取り組みを紹介したほか、首里城基金を活用した美術工芸品の修復状況や首里城公園の見どころなどを紹介した。御城だよりは園内配布のほか、県内の観光案内所や文化施設、自治体などに配布した。また、首里城公園ホームページでバックナンバーを掲載している。

R4 年度発刊実績

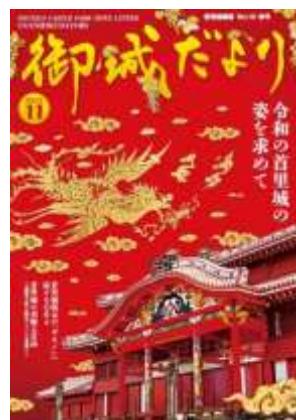
御城だより Vol. 14 8月 2,000部

御城だより Vol. 15 11月 ※普及版として 6,000部増刷

御城だより Vol. 16 1月 3,000部



御城だより Vol. 14 表紙



御城だより Vol. 15 表紙



御城だより Vol. 16 表紙



国担当者へのインタビュー記事



有識者へのインタビュー記事

世界遺産 5 城連携 コラボ御城印

目的

琉球王国グスク及び関連遺産群として世界遺産に登録されている県内 5 つの城跡による連携事業で、「世界遺産琉球王国のグスク・コラボ御城印」を制作・販売し、各城跡への周遊促進を図った。

販売場所

- ①首里城（女官居室 ミュージアムショップ球陽）
- ②中城城跡 ③座喜味城跡 ④勝連城跡 ⑤今帰仁城跡

実施概要

琉球王国グスク及び関連遺産群が世界遺産として登録された日（12月2日）に合わせて、令和4年12月2日にコラボ御城印の制作発表を行い、12月17日～18日に横浜で開催された「お城EXPO2022」にて5城連携によるブース出展をおこない、先行で販売した。

首里城公園では令和4年12月19日より首里城公園有料区域内のミュージアムショップ球陽にて販売している。登城記念として御城印帳と併せて収集するコレクターも増加しており、コラボ御城印への認知度の向上に伴い、県内世界遺産5城跡周遊への誘客ツールとして広く活用する。



コラボ御城印（首里城跡）



コラボ御城印を繋げると絵巻物のように物語が紡がれる仕掛け

(7) 行催事

首里城公園 ゴールデンウィーク体験イベント

目的

ゴールデンウィーク期間中に、子供たち向けに、体験要素と学習要素の高いプログラムを提供し、親子で楽しみながら、琉球王国が育んだ歴史文化の魅力について学んでいただくことを目的とする

開催期間および場所

《期間》 令和4年5月3日（火）～5月5日（木）

《場所》 首里城公園内全域

概要

体験要素の高い「漆喰絵付け体験」「琉球のお菓子作り体験」「紅型コースター染付け体験」など親子で楽しみながら学べるプログラムを実施した。

また、新たな内容として、インターネット上の仮想空間で参加者がアバターとなって楽しむ「バーチャル首里城体験」、園内数か所に設置された謎を解く「謎解きゲーム」を実施し好評を得た。

プログラム

(人)

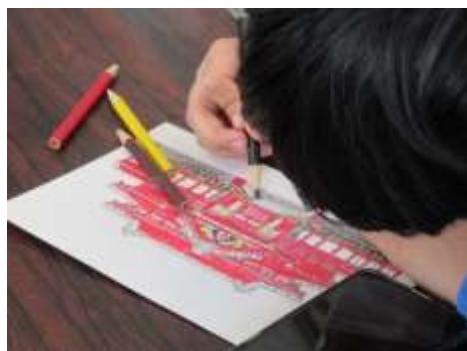
イベント名	場所	5/3	5/4	5/5	合計
漆喰絵付け体験	瑞泉門階段下	77	78	63	218
琉球のお菓子作り体験	系図座・用物座	32	35	33	100
首里城正殿ぬり絵体験	首理杜館前ガジュマル前	84	39	46	169
ペーパークラフト作り体験	首理杜館前ガジュマル前	115	39	61	215
紅型コースター染付け体験	世誇殿前 (雨天時は世誇殿内)	81	59	49	189
謎解きゲーム	首里城公園全域	112	56	82	250
バーチャル首里城体験	首里杜館情報展示室	78	80		158
親子でピクニック首里城周辺ガイドツアー	首里城公園周辺	15		4	19



漆喰絵付け体験



琉球のお菓子作り体験



首里城正殿ぬり絵体験



ペーパークラフト体験



紅型コースター染付け体験



謎解きゲーム



バーチャル首里城体験



親子でピクニック首里城周辺
ガイドツアー

首里城復興祭

目的

琉球文化の普及啓発、沖縄の観光振興に加えて、首里城復興の気運を高めるため国や県、地域との連携により各種催事を展開することで、沖縄の歴史文化の発展、県民の方々へ首里城復興に想いを馳せる機会の創出、地域の発展に寄与することを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和4年10月29日（土）～11月3日（木・祝）

《場所》 首里城公園及び首里城公園周辺

《連携団体》 那覇市、首里振興会、沖縄県、沖縄県酒造組合、地域団体等

概要

今年度は沖縄県や国が主催する木遣行列、首里城正殿復元整備工事起工式と連携しながら、最終日にはコロナ過以降、はじめて1万人を超える来園者が訪れた。

新しい取り組みとしては、一般公開された木材倉庫・原寸場を見学できる首里城復興特別見学ツアーを開催し、通常は立ち入れない作業場内を見学した参加者からは「首里城復興をさらに応援したくなった」との声も頂けた。

木遣行列・古式行列・正殿起工式は沖縄県と連携し、首里城公園公式YouTubeチャンネルよりLIVE配信を行い、県内外で首里城復興への気運をさらに高めることができた。

琉球芸能公演は甦る首里城を守る会を中心に、子供たちによる芸能公演を実施し、従来の古典芸能に加え現代版組踊を公演し、多くの方々に新たな県民文化として発信することができた。



国王・王妃出御



琉球芸能公演

首里城復興祭イベント

(人)

イベント名	場所	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	観覧者数 合計
国王・王妃出御	奉神門前	726	624	—	—	—	—	1,350
首里城復興特別 見学ツアー	木材倉庫・原寸場等	29	31	—	—	—	30	90
琉球王朝祭り首里 「古式行列」	奉神門～守礼門	—	—	—	—	—	2,838	2,838
国王・王妃御轎 乗車体験	金蔵	470	326	—	—	—	726	1,522
首里城復興祈念ス テージ	首里杜館芝生広場	500	355	—	—	—	1,041	1,896
琉球王朝絵巻行列 映像上映	世誇殿	—	—	—	—	—	—	—
琉球芸能公演	下之御庭	1,230	1,369	—	—	—	1,384	3,983
琉球泡盛の粋 in 銭蔵	銭蔵	—	—	—	82	171	577	830
こども御開門式	奉神門前	127	150	—	—	—	121	398
木遣行列・正殿 起工式映像配信	世誇殿	—	—	—	—	—	3,936	3,936
正殿ぬりえ体験	首里杜館芝生広場	45	40	24	11	38	500	658
ペーパークラフト 体験	首里杜館芝生広場	146	82	68	32	80	2,000	2,408
三線体験	首里杜館芝生広場	40	32	—	—	—	—	72
首里城美術工芸品 パネル展	世誇殿	—	—	—	—	—	—	—
首里城復興 A R 謎解きラリー	首里城公園内	277	301	24	23	132	493	1,118
木遣イベント	首里杜館芝生広場	—	—	—	—	—	634	634

※木遣行列・正殿起工式映像配信は当日(11/3)の再生回数

※ペーパークラフト体験は台紙を配布した枚数

首里城公園 新春の宴

目的

正月儀式「朝拝御規式」^{ちょうはいおきしき}の一部紹介や、国王・王妃出御を披露するとともに、琉球舞踊や古典音楽により首里城らしいお正月の雰囲気を演出することで、沖縄観光及び首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

実施期間および場所

《期間》 令和5年1月1日（日）～1月3日（火）

《場所》 首里城公園全域

《連携団体》 沖縄県立芸術大学、首里振興会、
(一社)琉球伝統芸能デザイン研究室

概要

下之御庭では、正月儀式「朝拝御規式」の「子之方御拝」^{にぬふあめうぬふえー}の一部を紹介し、世誇殿前では「国王・王妃出御」を行った。また新規プログラムとして復興展示室にて「首里城メッセージカード」や、女官居室テラスでは「オリジナル缶バッヂ作り」を行い、「御座楽演奏」や「琉球芸能の宴」では厳かな雰囲気を演出した。

プログラム

(人)

イベント名	場所	1/1	1/2	1/3	合計
朝拝御規式	奉神門～下之御庭	593		649	1,630
国王・王妃出御	世誇殿前	548	601	496	1,645
御座楽演奏	系図座・用物座	936	693	862	2,491
琉球芸能の宴	系図座・用物座	1,364	983	1,569	3,916
こども御開門式	奉神門	—	318	—	318
漆喰絵付け体験	瑞泉門階段下	66	46	50	162
首里城メッセージカード	復興展示室	—	—	—	—
オリジナル缶バッヂ作り	女官居室テラス	230	173	161	564

首里城正殿正月飾り 「画廉」展示	世誇殿	—	—	—	—
新春社のステージ	首里杜館芝生広場	697	852	642	2,191
朝拝御規式映像上映	世誇殿	—	—	—	—
首里城「朝賀の儀式」 パネル展	首里杜館ガイダン スホール	—	—	—	—



朝拝御規式



国王・王妃出御



御座楽演奏



こども御開門



首里城メッセージカード



オリジナル缶バッヂ作り

首里城公園 琉球の華みぐい

目的

沖縄を訪れたお客様に色鮮やかな花々でおもてなしする「沖縄花のカーニバル 2023」の開催に併せて、海洋博公園の「美ら海花まつり」に続き、首里城公園においても園内の草花装飾を実施し、花をテーマにしたプログラムを連携イベントとして実施することで、公園利用促進及び来園者の満足度向上を図ることを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和5年2月18日（土）～3月12日（日）

《場所》 守礼門～瑞泉門、系図座・用物座、世誇殿、後之御庭

概要

「沖縄花のカーニバル 2023」に併せて花をテーマにした催しで首里城公園の入園促進及び来園者の満足度向上を図った。園内装飾については守礼門付近～瑞泉門階段下までブーゲンビレアなどの草花を用いて華やかな装飾を施した。また、沖縄花のカーニバル実行委員会より寄贈された花植えプランター150鉢も守礼門付近に設置した。(1月25日～2月28日迄)

琉球のお菓子作り体験ではちんすこう作り体験を通して、琉球菓子の歴史やその背景について解説を行った（体験者数：計33組93名）。

また、「歴史植物ガイドツアー」では、園内に咲く草花や歴史を紹介することで園内周遊や再来園の契機づくりを図った（参加者数：計18名）。



草花装飾



琉球菓子作り体験



首里城の植物たち（映像上映）



百人御物参（映像上映）

首里城公園事業年報 第4号 令和5年5月 作成

発行所 一般財団法人 沖縄美ら島財団

沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地

電話 098-886-2020 (代)

編集兼発行人 花城 良廣



※空から見た首里城復元現場の様子